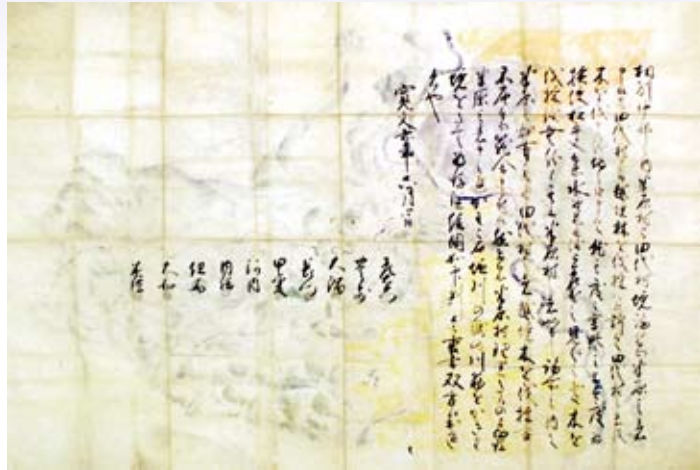


# 公文書館だより

第15号

平成18年 3月31日

## 徳川幕府裁許絵図 (とくがわばくふさいきよえず)



この絵図は、寛文六(一六六六)年半原村と田代村(現愛川町)との間で起こった村境争論に当時司法の最高機関である幕府評定所が判決を下した裁許絵図の原本です。

絵図の裏(写真上段)に書かれた判決文には、右から勘定奉行、町奉行、寺社奉行の順で各二名と老中四人全員が署名と黒印(こくいん)を押しています。署名最後(美濃)の老中は、小田原藩主稲葉正則です。

大矢家文書(寄託)



(原寸 1000×1360)

展示を終えて

平成十七年度

第三回企画展示

# 古文書にみる近世庶民のくらし

## ―かながわの江戸時代―

今回の「古文書にみる近世庶民のくらし」では、江戸時代の神奈川県内の一般の人々の生活に焦点をあて、四つの章で展示を構成しました。

第一章「日々の暮らし」では、毎日の生活の中で、彼らが何を思い、考えていたのかを当時の人々が残した記録から読み取ってみました。小作料の引下げを要求した小作人が、徒党を組んで強訴したことの始末書や、不作が続いたことによる年貢の

減免願など、彼らの生活に直結した文書を紹介しました。



「覚」野島浦鈴木家文書



「連印一札之事」(部分)萱沼村安藤家文書(寄託)

第三章「参詣と遊山」では、県内有数の信仰の地である大山と、鎌倉・江ノ島など観光地の記録、さらに伊勢参りに関する書付などを展示しました。大山は関東近郊の人々の信仰を集め、御師と呼ばれる世話人の引率による参詣が行われていました。また、伊勢参りは江戸期に何度か参宮のピークがあり、その都度大勢の人々が伊勢を訪れました。この費用を捻出するために、講を組織して金銭を積立てた記録もあります。歴史の概説書などにはない庶民のくらしを、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

ミニ展示

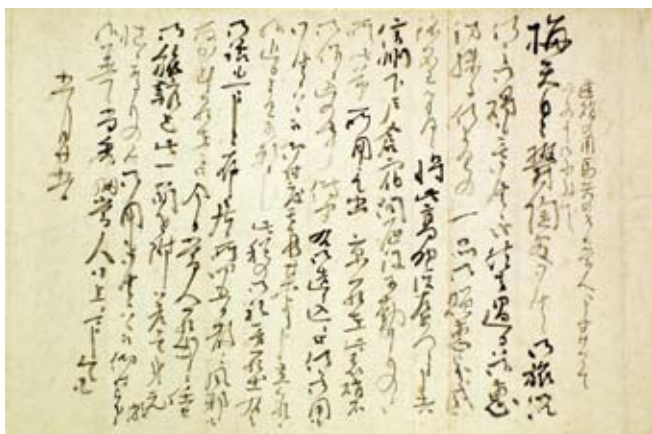
# 佐久間象山の書簡

開催期間

一月二日～二月二八日

平成一七年度第五回のミニ展示は、幕末の思想家、佐久間象山の書簡を紹介しました。信州松代藩士であった象山は、幕末の海防係を務めた藩主真田幸貫の下、海外事情の調査を通じて西洋の進んだ技術を知り、開国し西洋の技術を取り入れての国の固守を主張します。その後、自ら西洋砲術・蘭学を学び、江戸藩邸などで教授を始めます。日米和親条約締結時には、下田開港に反対し横浜開港を訴えますが、最終的に下田開港が決定します。さらに、これに前後して決行された弟子吉田松陰の渡航計画に連座し、象山も投獄されます。その獄中で著された『省愆言録』には、「東洋道德・西洋芸術」（伝統的社会政治体制の保持と先進的西洋技術の導入）という、象山の思想をよく表した言葉があります。やがて塾居放棄となった象山は、幕府の徴用を受けて上洛、海陸御備向手附御雇に任じたれ、公武合体・開国進取の考えのもと活動しますが、半年を経ずに

斬殺され、その生涯を終えました。この書簡は、晩年在京時に、幕府の鉄砲関連の職に就いていた小林祐三に、信州下戸倉宿問屋高野次左衛門が造硝の御用を請け負える様に紹介したものです。



「佐久間象山書簡」山口コレクション(寄贈)



## 苦痛と苦難の歴史

### ―ある病の記録―

平成十八年三月九日から三月三十一日まで、ホール内設置展示ケースでミニ展示「苦痛と苦難の歴史―ある病の記録―」を開催しました。当館が所蔵しているハンセン病対策に関する資料を展示し、神奈川県が関係する資料を展示し、神奈川県が行なったハンセン病対策の内容や、当時の社会状況を示す公文書などを紹介しました。

展示内容は全期間を三つの時期に分け、それぞれ①戦前期神奈川のハンセン病との関わり、②戦後のハンセン病対策、③患者たちの置かれた



情況、というテーマで展示替えを行いました。

「戦前期神奈川のハンセン病対策との関わり」では、戦前期に神奈川県が運営に関わった全生病院（現在の多摩全生園）への負担金などに関係した文書を紹介しました。

「戦後のハンセン病対策」では、療養所への入所を拒んで逃走する患者への措置に関する厚生省との協議文書や、密入国患者（実際には朝鮮半島出身者や台湾人を含む）への取り締まりに関する文書などを展示しました。

「患者たちの置かれた情況」では、近隣住民からのハンセン病患者と疑われる人物への調査を依頼する投書や、列車内で患者と疑われた人への検診状況報告書を展示しました。また、県衛生部が行なった入所勸奨の実態を示す公文書も紹介しました。今回の展示では公文書を通して、行政の病への対応や彼らを取り巻いた社会情況、そして患者たちが感じた苦痛や苦難について少しでも伝えることができましたのではないかと考えています。

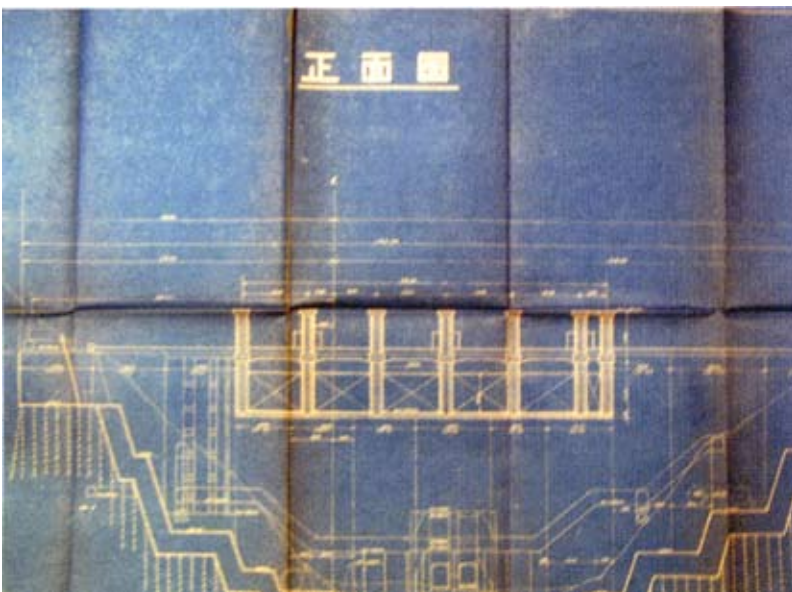
## 資料紹介

『相模川河水統制（工事）竣工報告』  
昭和25年度完結・平成16年度引渡し  
請求番号 B H 16 | 9 | 36

相模・津久井のダムと発電所建設を主体とする一大プロジェクトは、昭和15年11月25日に工事着手し、戦局の進展に伴い、完成も危ぶまれたのですが、昭和25年3月31日に当初計画分が完成しました。

資料冒頭部分にはこのように記されています。（元文のまま）

「我が国未曾有の混乱期に遭い、関係書類もその多くを散逸し、焦慮し乍ら何とかして御命令の職旨にそはんと極力調査の結果、ようやく今般、別冊の通り竣功並に実施設計変更調書を作成したので、茲に竣功並に実施設計の変更を報告致す次第であります。」



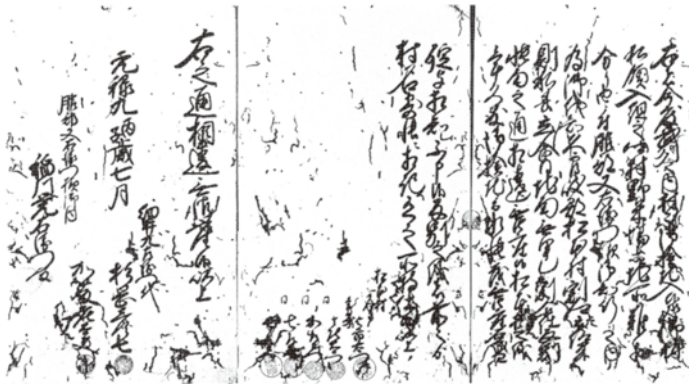
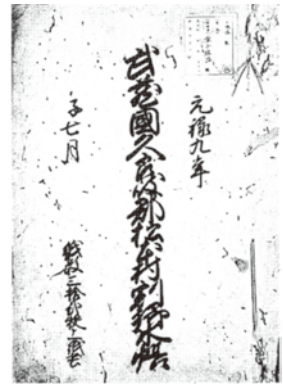
# 所蔵資料紹介

## ● 古文書資料

### 金子家文書（寄託資料）

此の文書は、金子浩一郎氏から寄託された武蔵国久良岐郡松本村名主・戸長文書を初めとする江戸時代から昭和戦前期に至る金子家伝来の文書です。江戸時代の文書には、天正一九年十月武州久良岐郡杉田下郷御縄打 手帑（写）、寛文貳年下郷松本村田島屋敷永引帳（原本）、享保九年保土ヶ谷町御伝馬諸入用書上、地域の特色を示す幕府評定所の判決に迄及んだ明和八年松本・関・雑色村と最戸・久保・弘明寺・中里村との青木堰土取場をめぐる出入（訴訟）に関する一件文書、村絵図等が有ります。明治時代以降は、明治二年旗本三人が上知し神奈川県役所に提出された松本村全体の年貢収納に関する控文書が有ります。明治期当家には一八九九年三月二日米国へ旅立ち当地で社会主義者として生きた金子喜一がいます。喜一氏には、氏が米国在任時に発表した論稿を一冊にまとめた著書に堺利彦等が序文を寄せた『海外より見たる社会問題』（明治四〇年五月平民書房発行）や直筆原稿「日本に於ける労力の地位」があります。喜一氏に関する研究は、昭和三九年（一九六四）瀬沼茂樹が日本文学で取り上げて以来、今日に至るまで数編見られます。

掲出写真の文書は、松本村が徳川幕府領細井九左衛門支配から三人の旗本に分割された時の原本です。



## ★ 平成一八年度行事のご案内

### ※ 展示のご案内

#### ★ 通常展示

・「資料にみる神奈川の歴史」  
五月一八日(木)～八月三日(木)

#### ★ 企画展示

- ・「かながわの青少年」  
九月二七日(水)～十一月二六日(日)
- ・「絵図にみるかながわ」  
一月二四日(水)～三月一日(日)

#### ★ ミニ展示

- ・「エルネスト・サトウ（アーネスト・サトウ）の書簡」  
五月一〇日(水)～六月三〇日(金)
- ・「戦前期社会教育関係資料」  
七月一三日(木)～八月三一日(木)
- ・「井伊直弼の書簡」  
九月一三日(水)～一〇月二九日(日)
- ・「神奈川県特高関係資料」  
十一月一日(土)～十二月二四日(日)
- ・「周布公平（神奈川県第十九代知事）の書簡」  
一月一〇日(水)～二月二八日(水)

#### ★ 常設展示

- 四月十六日(日)～三月三十一日(土)
- ・「(郡役所)の時代」
- ・「相模原(軍都)計画」
- ・「戦後の京浜臨海部」
- ・「陸奥宗光の書簡」
- ・「副島種臣の書簡」[「上半期」]
- ・「佐久間象山の書簡」[「下半期」]

### ※ 講座のご案内

- ・古文書解読中級講座（定員一四〇名）  
五月十四日(日)～六月一日(日)の各日曜日（全五回）
- ・古文書解読上級講座（定員一四〇名）  
一〇月一五日(日)～一〇月二九日(日)の各日曜日（全三回）
- ・古文書解読入門一日講座（定員五〇名）  
十二月三日(日) 中井町（予定）
- ・古文書解読入門講座（定員一四〇名）  
二月四日(日)～三月一日(日)の二月一日を除く各日曜日及び二月一〇日（全六回）

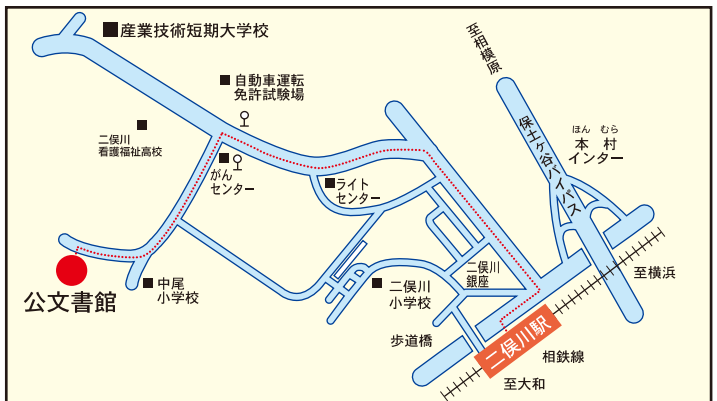
## ★ 館利用のご案内

### (利用時間)

閲覧室↓午前九時～午後五時  
会議室↓午前九時～午後九時

### (利用方法)

閲覧室↓開架されている資料は自由に閲覧できます。また、書庫内の資料は受付に請求して下さい。  
会議室↓どなたでも自由に申込みできます。



電車の場合 相鉄線「二俣川駅」（横浜駅から急行で11分）下車／徒歩17分又は相鉄バス「運転試験場循環」行きで「運転試験場」下車徒歩3分  
交通の案内 車の場合 「保土ヶ谷バイパス」本村インターから6分

神奈川県立公文書館だより（第一五号）  
平成一八年三月二日発行  
編集発行 神奈川県立公文書館  
〒二四一〇八一五  
横浜市旭区中尾一六〇一  
電話 〇四五（三六四）四四五六

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています